

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
**東部教育局**  
 〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地  
 東教発 R 6 . 4 . 1 0 No.179  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

## 新年度にあたり

局長 蓮佛 俊敬

本年度、東部教育局長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

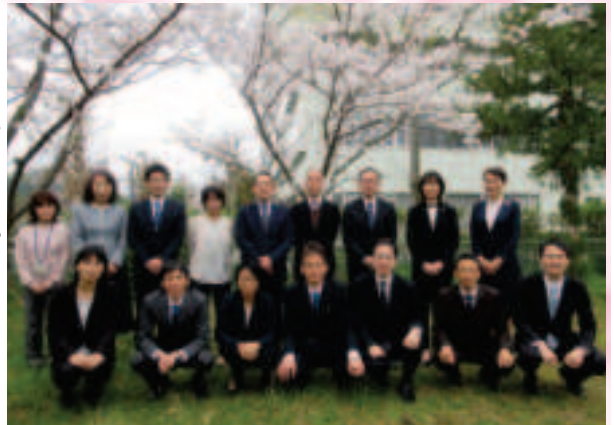
穏やかな春の日差しと満開の桜の下で、それぞれの学校では始業式や入学式を終え、児童生徒がさう中、希望に満ちた令和6年度のスタートを切られたことと思います。

さて、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態への対応に追われ、それまで当たり前だった教育活動の実施について、見直しなどの検討を重ねてきました。ようやく昨年5月に、新型コロナウイルスが感染法上の「5類」に移行し、少しずつ安心感がもてるようになり、通常に近い教育活動を再開できる状況になってきました。

学校では、引き続き、異常気象や自然災害への備え、急速な社会の変化、価値観の多様化への対応、人口減少社会に向けた取組、GIGAスクール構想の進展や学習指導要領に基づく教育改革等を加速的に進めながら、児童生徒、そして教職員一人一人が安心して通える学校、自らの可能性を最大限に発揮できる学校を、創造して行ってほしいと思います。

年々、人材不足は深刻度を増し、今年度、教職員未配置等の学校においては、ぎりぎりの状態でスタートされたものと思い、大変申し訳なく思います。

東部教育局では、様々な困難な課題に果敢に立ち向かう園・学校、子どもの成長を支える教職員、夢を実現したいと願う子どもたちと意思を一つにしなが、各園・学校や市町教育委員会を精一杯支援させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 生活に生きる「学級目標」にするには？

～みんなで決め、みんなでめざす学級目標をつくる～

### ①子どもたちのめざす学級への思いを引き出す

担任の「めざす学級像」や「子どもたちへの願い」を伝えた後、一人一人の「学級への思い」を確認しましょう。  
 例えばこんなFormsを使ってみては？(コピー、編集OK) →  
※鳥取県教育委員会Googleアカウントからのみアクセス可能



### 素敵な出会いの演出で温かい学級づくりを

「安心して自分の思いを出せる学級だ」と思える出会いのポイントはこちらの動画をチェック！

→学級づくりワークショップ  
 (エキスパート教員 三好 仁視 教諭)

※鳥取県教育委員会Googleアカウントからのみアクセス可能



### ②学級目標決定までのプロセスを大切に

アンケートやホワイトボードアプリ等の活用、グループ活動等で話し合いを活性化させ、子どもたちの思いや言葉を引き出しなが話し合いを進め、学級目標をつくっていきます。

### アンケート等で家の人の願いにも目を向けて

家庭でも学級への思いを話題にすることで、子どもたちのよりよい生活を目指す話し合いの後押しに。Formsを活用して家の人の願いを確認し共有。

### ③学級目標を生かす

学級目標に込めた思いや意味を定期的に確認します。  
 クラスの課題が見えたときや行事の前後は学級目標を生かす絶好のチャンス！学級目標の実現に向け、心を一つに取り組み意義を感じられるような声掛けをしましょう。

### 学級目標に対する個人目標を設定する

学級目標は、意識され、振り返ってこそ効果あり！学級目標実現のために、自分はどう取り組むのか、個人目標を立て、キャリアパスポート等を活用しながら振り返りの場を設定することが大切。

詳しくは元気いっぱい園・学校づくりのポイント集Ⅱ → 人間関係づくり編「1学級づくりの基本」(p.51～)参照



学級目標を日常生活に生かしていくためには、話し合いを通して「自分自身も参加して作った自分たちの目標」と子どもたちが思えること、そして日々の生活の中で思いの確認や振り返りを行うことが大切です。掲げた学級目標の実現ができるよう子どもたちとともに活動の充実を図りましょう。

**特別支援教育  
コーナー**

**学習意欲や自主性を育む音読指導・支援の取組**  
～入門期における文字や言葉の指導・支援～

東部地区1市4町では、1年生全員を対象に、年3回の音読確認と音読支援を行っています。  
ひらがな読みが困難な児童を早期に発見し支援する「ひらがな音読確認・音読支援」の概要と、八頭町立郡家西小学校の取組を紹介します。

4月、文字や言葉の入門期における指導・支援の参考にしてください。

**ひらがな音読確認・音読支援(T式ひらがな音読支援)の概要**

- ◇年3回(6月・10月・1月)音読確認
- ◇基準値に達しなかった児童へアプリを使用した音読支援

<1回5分×21回の音読支援の実施>

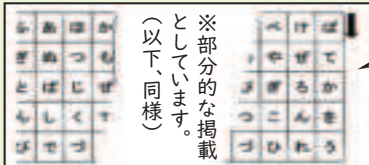


**音読支援アプリ、がんばりカードの活用**  
・時間帯や指導者などは、各学校で工夫  
・児童の実態によっては、イラスト付きひらがなカードを使うことが効果的

- ◇2回目の音読確認で基準値に達しなかった児童を対象に、3回目の音読確認・音読支援を実施

**音読確認【3つの検査内容】**

- ①直音連続読み検査(清音・濁音・半濁音)※1回目、2回目



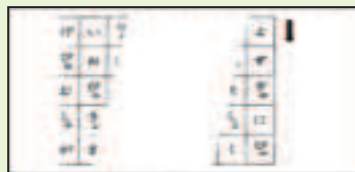
※部分的な掲載として  
(以下、同様)

1分間で何文字読めるか。

○音や形が似た文字(「ね」と「わ」等)の習得でつまずきやすい。

※直音(「あ」「い」など、ひらがな1文字で表されるもの)

- ②単音連続読み検査(清音・濁音・半濁音・拗音)※2回目、3回目



ひらがな50文字の音読時間。

○拗音(小さい「や」「ゆ」「よ」)でつまずきやすい。

※単音(直音+拗音「や」「ゆ」「よ」)

- ③単文音読検査 ※3回目



単文(3つ)の音読時間



**八頭町立郡家西小学校での入門期における文字や言葉の指導**

(令和5年度当時)1年担任 谷口 三千代教諭の、入門期における文字や言葉の指導のポイント!!

- ☆**児童が発言したことを大事にする**  
・児童の目線に立って大きくうなずきながら、発言内容に耳を傾ける。そのため、児童はどンドンと話すようになる。



- ・生活体験などをもとに説明させることで語彙の習得につながる。

- ☆**教科書を通してたくさんの言葉に触れる**  
・教科書の挿絵から、楽しみながら言葉を想像し、語彙を増やす機会をつくる。  
・身に付けた力を教科指導や学級活動などで汎用化させる。



☆**困ったときは「赤ペン先生してください。」**

- ・学校は学ぶところ。先生にSOSを出すのは当たり前。SOSを出すことのメリットを感覚的にもたせる。

☆**評価が返ってくるとがんばれる**

- ・取り組んだことは必ず可視化して、評価を返す。評価があることで、児童は文字をどンドン書くようになる。がんばることが力を付けることにつながる雰囲気をつくる。

**校内の取組み**

1~4年生を対象に補充学習を行っています。アセスメントで、対象となった児童に対して、担任外の職員が給食準備時間などを使い、個別や小集団での指導を行う体制が整えられています。



文字に対する興味・関心は一人一人異なり、入学時点での読み書きの状況も様々です。谷口教諭は、「個人差が大きいことを前提として、無理強いをすることなく、結果よりもまずは、一生懸命さを評価したりさりげない褒め言葉をかけたりして、児童の学習意欲や自主性を育てていくことが大切。」とおっしゃいました。学習のスタートにあたって、大事にしたい視点です。



# 東部教育局主催ワークショップ・研修会のご案内

東部教育局では、各種事業、要請訪問での指導助言等を通じて、各園・学校にかかわらせていただいています。その他にも、次のような機会を設定して、東部地区の学校教育の充実に努めているところです。今年度の主な予定は次のとおりです。多くのご参加お待ちしております。

この他にも、随時、御案内していきます。

## <各種ワークショップ>

### 特別支援教育（2回/年）

時期：令和6年5月23日（木）と令和7年1月（予定）  
 対象：特別支援学級の担任等  
 内容：自立活動の指導や学習上又は生活上のつまづきに対する支援等について、特別支援教育コーディネーター等から具体的な助言を受ける。

### 授業づくり（2回/年）

- ◆エキスパート教員に学ぶ  
 時期：令和6年12月26日（木）  
 対象：小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員
- ◆研究主任等研修会  
 時期：夏季休業中（予定）  
 対象：希望する教職員

### 社会教育（2回/年）

時期：令和6年7月と10月（予定）  
 対象：教職員、公民館職員等  
 内容：ふるさとキャリア教育やコミュニティ・スクールについて、情報提供や協議・演習を行う。

### 幼保小連携・接続（1回/年）

時期：夏季休業中（予定）  
 対象：小学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員  
 内容：「遊びを通して学ぶ」幼児教育の特性について理解することで、小学校での指導の在り方について考える。架け橋期のカリキュラムについて。

## <研修会>

### 東部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会（3回）

時期：令和6年6月10日（月）、7月5日（金）、10月15日（火）  
 対象：園、小学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員等

### 一転出者の紹介

局長 徳高 雄一郎（鳥取市教育委員会へ）  
 学校教育担当係長 濱田 ひろみ（鳥取市立津ノ井小学校へ）  
 学事担当係長 杉原 夏季（鳥取市立河原第一小学校へ）  
 学校教育担当指導主事 大林 幹嗣（鳥取市こども発達支援センターへ）  
 学校教育担当指導主事 聲高 光（小中学校課へ）

### 一転入者の紹介

局長 蓮佛 俊敬（鳥取市立若葉台小学校から）  
 学事担当係長 宮前 康予（鳥取市立富桑小学校から）  
 学校教育担当指導主事 西小路 真智子（鳥取市こども発達支援センターから）  
 学校教育担当指導主事 中林 真彦（鳥取市立西中学校から）  
 教育相談員 原田 敦（新規採用）  
 社会教育担当指導主事 山根 聡（若桜町立若桜学園小学校から）



## 東部教育局内の担当分掌を紹介します

**局長 蓮佛 俊敬 次長 藤岡 仁**

学事担当 TEL 20-3666・3667

学校教育担当 TEL 20-3669～3675

担当	主な分掌	担当	主な分掌
係長 岡村	○中学校人事管理	係長 皆川	○学校教育指導の総括 ○市町教委・関係課との連携 ○研修派遣
係長 宮前	○教職員の給与・旅費 ○共同学校事務室の運営・支援	指導主事 坂本	○学力向上 ○国際理解教育 ○図書館教育
管理主事 本庄	○小学校人事管理	指導主事 星見	○幼稚園教育課程 ○幼児教育 ○健康教育 ○センター研修
会計年度任用職員 坂本	○局内庶務	指導主事 渡繪	○小学校教育課程 ○エキスパート教員 ○教科用図書 ○外国語教育
社会教育担当 TEL 20-3676		指導主事 西小路	○特別支援教育 ○福祉教育 ○環境教育 ○安全教育
担当	主な分掌	指導主事 漆原	○中学校教育課程 ○生徒指導 ○進路指導 ○教育相談 ○学校体育
次長 藤岡	○社会教育の総括	指導主事 中林	○情報教育 ○ICTを活用した教育活動 ○道徳教育
指導主事 山根	○社会教育の推進○ふるさとキャリア教育○人権教育○家庭地域の連携	教育相談員 原田	○教育相談
		保育専門員 矢部	○園の訪問指導 ○研修支援